

## 3月27日開催、第136回砂利船部会議事概要

当日、神戸市 生田神社会館において、標記部会を開催し、概要次の通り審議決定された。

### 1. 部会委員の交代について

東北内航海運組合より、前委員の死去に伴い交代方要請のあった以下について、既に第275回理事会（3月19日開催）で承認を受けている旨報告し、了承された。

(敬称略)

旧 委 員		新 委 員
吉 田 喜 一	→	奥 田 浩 也

### 2. 砂利船に係わる適正運賃の研究について

本年度の当部会活動方針である砂利船業界の再生に向けた適正運賃の研究については、新たに設置されたワーキンググループを昨年来3回開催し、種々検討を行ってきた。

砂・砂利・石材の販売価格を考える上での構成要素としては、別紙1にある通りであるが、同ワーキンググループでは砂利船の運航・維持にかかるコスト把握を行うべく、第一段階として船舶コストについて検討を行い、その結果、別紙2の条件の下に499 G/T型、699（749）G/T型の砂利船のモデル船舶コストを算定した旨報告し、検討の結果 了承された。

(別紙3、4 参照)

尚、船舶コストを考えて行く上での大きな要因である稼働日数については、砂利船の運航実態を勘案し、またガット船による海砂利採取がほとんど無くなった現状から、石船・碎石船については稼働日数240日とし、砂・砂利運搬船は、稼働日数300日とした。

また、併せて直近の燃料油価格について、本年1～3月期では、A重油77,550円/k1、C重油67,500円/k1と高騰し、燃料油価格上昇分の運賃・販売価格への転嫁もままならず、砂利船業界が存亡の危機に立たされている旨、発言があった。(内航燃料油の推移 別紙5 参照)

### 3. 暫定措置事業に関する報告について

資料に基づき報告し、交付金については平成19年度下期資金管理計画に基づき、未交付の65億円について全船交付対象となり、その内、2割を預託する旨了承のあった分の47億円が交付された旨とともに、暫定措置事業による建造の累計が、803隻 1,846,573対象トンとなっており、内 免除船が830隻 1,045,977対象トン、総連合会へ納入のあった差引納付金差額は623億9,700万円余となっている旨報告し、了承された。

### 4. 内航海運活性化プロジェクトチームに関する報告について

平成25年度以降の暫定措置事業の在り方について、総連合会の上野会長より平成20年度中に方向性を示したいとの意向を受け、総連合会政策小委員会で検討されることから、全海運としては同プロジェクトチームで検討を行っている旨報告を行った。

当連合会では、各部会での検討結果等から、既存船の財産価値の維持方を要望しているが、基本的認識として、25年度以降の政府保証分530億円の償還方法、また、船齢15年超船の取り扱い、併せて平成27年度の交付金制度終了に伴う引当資格未使用船舶への免除制度への対応等を含め、検討していく旨報告し、了承された。

### 5. 全海運、平成20年度事業計画について

本年度事業計画を参考に当部会として次年度事業計画への要望事項等検討の結果、船員問題等、砂利船業界の置かれている状況には、一般船以上に厳しいものがある旨発言があったものの、次年度全海運の事業計画策定にあたっては、総務委員会、理事会に一任することとした。

### 6. ガット船運航における遵守事項について

昨年来、ガットを屹立したままでの運航による送電線切断事故等多発したことから、昨年12月に船員法施行規則が一部改正され、クレーン等を安全な位置に保持することが義務付けられたことを受け、総連合会 砂・砂利・土砂小委員会でガット船事故対策検討会を設置し、事故防止対策として冊子

を作成し、次の4項目の遵守徹底方を要請した旨報告、了承された。

1. 運航計画策定時、海図（大縮尺）において航路上の送電線等の有無や海上高の確認等、航路の事前調査を行うこと。
2. 運航前に、装備されているクレーン等の位置を確認し、これを航海の安全に支障を及ぼすおそれのない位置に保持すること。航行中これを維持すること
3. 事業者又は船単位でクレーン等の位置を確認する手順を確立し、乗組員に周知徹底すること。
4. 万が一、送電線切断等の事故を起こした場合は、速やかに海上保安庁、地方運輸局等に通報すること。

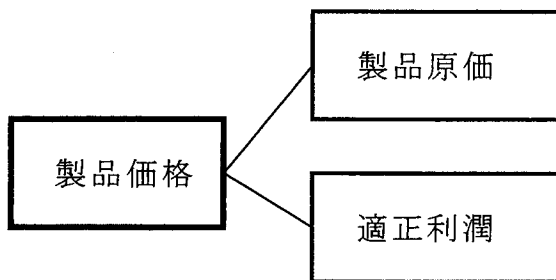
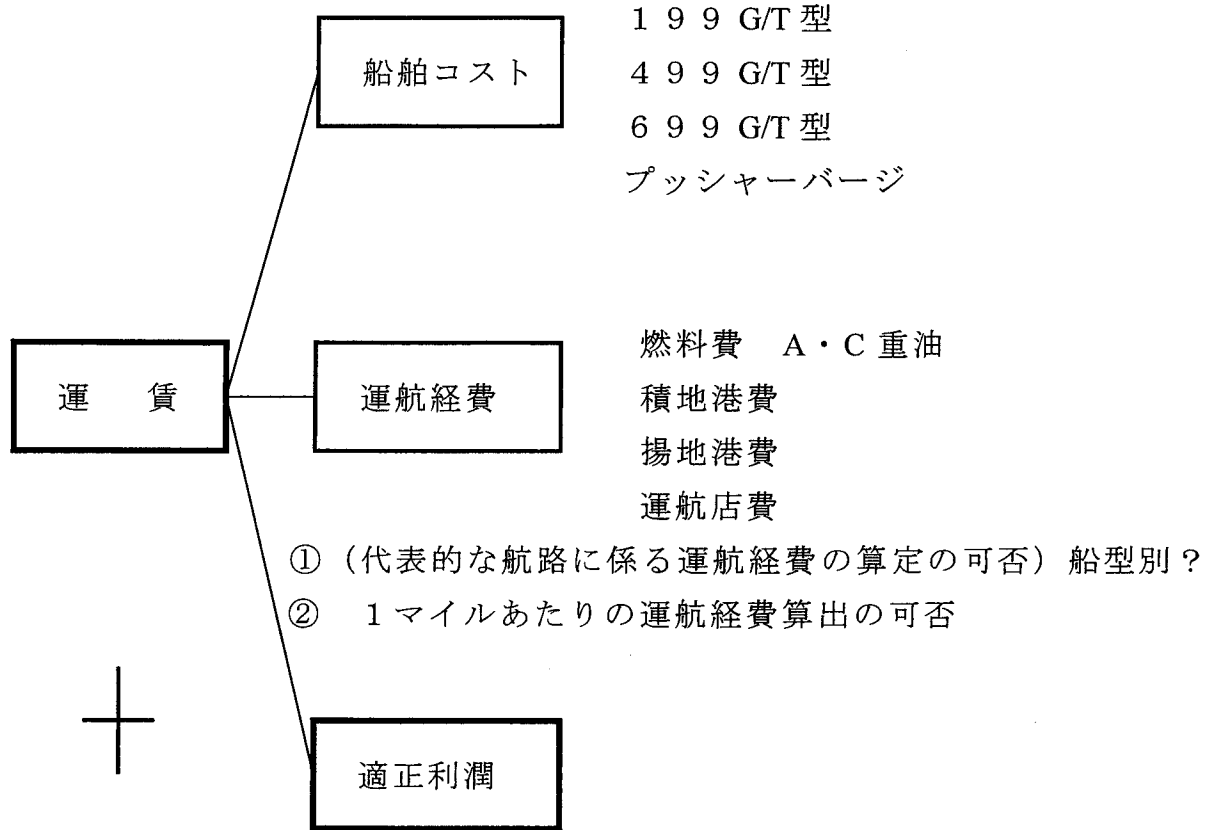
尚、全海運では、ガット船 1 隻ごとに本冊子を備え付けるよう、各地区組合（支部）を通じ、配布した旨、併せて報告した。

以 上

# 砂利船部会ワーキンググループ 別紙 1

## 適正運賃の研究について

H19. 8. 3



砂・海砂利 等級・除塩の有無(産地別の製品代の算定?)  
 陸砂・陸砂利 等級 ( " )  
 石材(石灰石?) 等級・品目別 ( " )  
 残土

||

**販売価格**

# 別紙 2

## 砂利船モデル船舶コストの算出について

11月20日開催の砂利船部会ワーキンググループにおいて、499 G/T型・699 G/T型の砂利船のモデル船舶コストについて、以下の通り算出致しました。

尚、199 G/T型については、当日検討の結果、砂利船の当該船型が、ほとんど無い現状に鑑み、今回は船舶コスト算出を見送ることと致しましたので、ご了承下さるようお願い申し上げます。

### 従来との主な変更点

1. ガット船による海砂利の採取が、ほとんど無くなった現状（実態としてポンプ船に移行）から、稼働日数240日の船舶を石船・砕石船に限定し、採取船を対象から除外。
2. 暫定事業による平成19年度の特種船納交付金差額24,000円を、全額納付金による建造と想定し、平成19年度特種船の納付金1D/W当たり@54,500円として、全額経費に算入。
3. 月間船舶経費については、砂利船業界の実態に即し、年間船舶経費を12等分した金額を、従来の様式と併記した。  
(従来は、一般船の船舶経費に倣い、稼働日数を基として算出)
4. 新たに1日当たり船舶経費として、年間船舶経費を稼働日数で割った稼働1日当たりの船舶経費を算出。

以 上

# 499G/T型、砂利船モデル船舶コスト

H 19. 11. 20

単位：千円（除くH.B）

項目	石船・砕石船		砂・砂利運搬船		備考
	稼働日数240日	稼働日数300日	稼働日数240日	稼働日数300日	
総トン数	499	499	499	499	
重量トン数	1,600	1,600	1,600	1,600	
主機馬力数	2,200	2,200	2,200	2,200	
乗組員数	6	6	6	6	乗組員数5名 + 予備員数1名
稼働日数	(240)日	(300)日	(240)日	(300)日	稼働日数は、砂利船の運航形態の特殊性(採取日数の限定・天候・工事期間のみの稼働等)・実態に鑑み、石船・砕石船については240日、砂・砂利運搬船については300日とした。
取得価格	717,200	717,200	717,200	717,200	建造船価 + 乗出費用 + 納付金差額
建造船価	600,000	600,000	600,000	600,000	船体価格 + ガット価格
船体価格	530,000	530,000	530,000	530,000	平成19年度の新規建造を想定
ガット価格	70,000	70,000	70,000	70,000	
乗出費用	30,000	30,000	30,000	30,000	建造船価の 5 %
納付金額	87,200	87,200	87,200	87,200	平成19年度特殊船の納付金額 @ 54,500円 × 1,600 D/W
耐用年数	14年	14年	14年	14年	
船員費	67,921	67,921	67,921	67,921	平成19年度 全内航 500G/T未満妥結額@ 943,352円 × 6人 (5人 + 予備員1人)
修繕費	24,000	24,000	24,000	24,000	一般修繕費 + ガット修繕費
(一般修繕費)	(12,000)	(12,000)	(12,000)	(12,000)	月額@ 1,000,000円 (定期検査・中間検査・間トック等の5年間平均額を含む)
(ガット修繕費)	(12,000)	(12,000)	(12,000)	(12,000)	月額@ 1,000,000円 (ワイヤー代等を含む)
船用品費	3,600	3,600	3,600	3,600	溶接・切断機等、 月額@ 300,000円
潤滑油費	2,400	2,400	2,400	2,400	主機 2,200 PS 月額@ 200,000円
保険料	7,627	7,627	7,627	7,627	船体保険 + PI保険
(船体保険料)	(6,674)	(6,674)	(6,674)	(6,674)	附保額 717,200 千円 5 種条件
(P.I 保険料)	(953)	(953)	(953)	(953)	附保額 50億円、船員条件なし(953,400円)
固定資産税	2,175	2,175	2,175	2,175	建造船価 600,000 千円の償却年央簿価(0.55 - 0.45/14) × 1/2 × 1.4%
雑費	3,150	3,150	3,150	3,150	取得価格(630,000千円) : 納付金差額を除く) × 0.5%
減価償却費	46,106	46,106	46,106	46,106	取得価格(717,200千円) に対する 14年定額償却 (残存 10%)
設備資金金利	11,142	11,142	11,142	11,142	取得価格(600,000千円)の償却年央簿価 × 年利(3%)
船主店費	8,406	8,406	8,406	8,406	年間船舶経費合計(船主店費を除く) × 5%
年間船舶経費合計(千円)	176,528	176,528	176,528	176,528	
月間船舶経費(千円)	14,711	14,711	14,711	14,711	年間船舶経費合計 / 12カ月 (砂利船業界では、一般的に年間船舶経費の12等分をもって月間経費とする)
1日当たり船舶経費(円)	735,532	735,532	588,426	588,426	1日当たり船舶経費については、年間船舶経費を稼働日数(240日・300日)で割った稼働1日当たりの数字

38.5%

13.6%

(6.8%)

(6.8%)

2.0%

1.4%

4.3%

(3.8%)

(0.5%)

1.2%

1.8%

26.1%

6.3%

4.8%

699(749)G/T型、砂利船モデル船舶コスト

H19. 11. 20

単位：千円（除くH.B）

項目	石船・砕石船		砂・砂利運搬船		備考
	稼働日数240日	稼働日数300日	稼働日数240日	稼働日数300日	
基					
礎					
項					
目					
総トン数	699(749)	699(749)	699(749)	699(749)	
重量トン数	2,100	2,100	2,100	2,100	
主機馬力数	2,500	2,500	2,500	2,500	
乗組員数	7	7	7	7	乗組員数6名 + 予備員数1名
稼働日数	(240)日	(240)日	(300)日	(300)日	稼働日数は、砂利船の運航形態の特殊性(採取日数の限定・天候・工事期間のみの稼働等)・実態に鑑み、石船・砕石船については240日、砂・砂利運搬船については300日とした。
取得価格	954,450	954,450	954,450	954,450	建造船価 + 乗出費用 + 納付金差額
建造船価	800,000	800,000	800,000	800,000	船体価格 + ガット価格
船体価格	700,000	700,000	700,000	700,000	平成19年度の新規建造を想定
ガット価格	100,000	100,000	100,000	100,000	
乗出費用	40,000	40,000	40,000	40,000	建造船価の5%
納付金額	114,450	114,450	114,450	114,450	平成19年度特殊船の納付金額 @54,500円 × 2,100 D/W
耐用年数	14年	14年	14年	14年	
船員費	78,564	78,564	78,564	78,564	平成19年度全内航1,000G/T未満妥結額@ 935,289円 × 7人 (6人 + 予備員1人)
修繕費	28,800	28,800	28,800	28,800	一般修繕費 + ガット修繕費
(一般修繕費)	(14,400)	(14,400)	(14,400)	(14,400)	月額@ 1,200,000円 (定期検査・中間検査・間トック等の5年間平均額を含む)
(ガット修繕費)	(14,400)	(14,400)	(14,400)	(14,400)	月額@ 1,200,000円 (ワイヤー代等を含む)
船用品費	4,200	4,200	4,200	4,200	溶接・切断機等、月額@ 350,000円
潤滑油費	3,000	3,000	3,000	3,000	主機2,500 PS 月額@ 250,000円
保険料	9,665	9,665	9,665	9,665	船体保険 + PI保険
(船体保険料)	(8,711)	(8,711)	(8,711)	(8,711)	附保額954,450千円 5種条件
(PI保険料)	(953)	(953)	(953)	(953)	附保額50億円、船員条件なし(953,400円)
固定資産税	2,900	2,900	2,900	2,900	建造船価800,000千円の償却年率簿価(0.55 - 0.45/14) × 1/2 × 1.4%
雑費	4,200	4,200	4,200	4,200	取得価格(840,000千円 : 納付金差額を除く) × 0.5%
減価償却費	61,358	61,358	61,358	61,358	取得価格(954,450千円)に対する14年定額償却 (残存10%)
設備資金金利	14,828	14,828	14,828	14,828	取得価格(800,000千円)の償却年率簿価 × 年利(3%)
船主店費	10,376	10,376	10,376	10,376	年間船舶経費合計(船主店費を除く) × 5%
年間船舶経費合計(千円)	217,890	217,890	217,890	217,890	
年間船舶経費(千円)	18,158	18,158	18,158	18,158	年間船舶経費合計 / 12ヵ月 (砂利船業界では、一般的に年間船舶経費の12等分をもって月間経費とするため)
1日当たり船舶経費(円)	907,876	907,876	726,301	726,301	1日当たり船舶経費については、年間船舶経費を稼働日数(240日・300日)で割った稼働1日当たりの数字

36.1%

13.2%

(6.6%)

(6.6%)

1.9%

1.4%

4.4%

(4.0%)

(0.4%)

1.3%

1.9%

28.2%

6.8%

4.8%

## 内航燃料油価格

年度・月	項目	原油CIF \$/BL	為替Rate ¥/\$	総原価 ¥/kℓ	燃料油価格(円/kℓ)	
					A重油	C重油
1991		18.97	134.53	33,490	33,000	24,100
1992		19.31	126.64	31,860	32,100	21,800
1993		17.34	110.62	28,290	28,700	17,100
1994		16.68	101.69	26,790	27,020	16,730
1995		18.17	94.34	26,950	27,630	17,100
96 年度	4-6	19.30	106.20	29,240	32,000	19,400
	7-9	19.74	108.22	29,830	32,000	19,700
	10-12	22.00	110.88	31,900	34,100	21,750
	1-3	23.87	116.52	34,210	36,000	23,450
97 年度	4-6	20.80	123.61	32,590	34,000	22,000
	7-9	19.40	115.42	30,320	32,200	20,600
	10-12	19.69	120.97	31,270	32,900	21,200
	1-3	18.46	128.64	31,246	31,900	20,500
98 年度	4-6	13.28	130.24	26,887	28,200	17,000
	7-9	13.25	140.86	27,788	29,000	17,400
	10-12	13.60	128.68	26,988	28,300	17,700
	1-3	11.90	116.17	24,501	26,000	15,100
99 年度	4-6	13.22	119.87	25,850	27,300	16,100
	7-9	17.17	119.68	28,917	30,400	19,200
	10-12	21.95	107.25	31,062	32,600	21,400
	1-3	25.41	104.85	33,216	34,600	22,850
00 年度	4-6	26.39	107.38	34,347	35,600	24,100
	7-9	28.56	107.41	35,985	37,200	25,450
	10-12	31.07	107.58	37,860	39,100	26,900
	1-3	27.55	114.20	36,433	37,200	24,900
01 年度	4-6	26.03	121.54	36,472	37,400	26,050
	7-9	27.06	122.95	37,524	37,400	27,300
	10-12	24.66	120.37	35,054	34,800	25,250
	1-3	19.58	129.59	32,127	31,900	21,900
02 年度	4-6	23.04	130.94	35,076	34,800	25,950
	7-9	26.08	121.13	36,046	35,300	26,200
	10-12	27.61	121.52	37,360	36,600	27,350
	1-3	28.25	120.60	37,668	36,900	27,400
03 年度	4-6	30.28	118.74	38,941	38,000	28,500
	7-9	27.64	118.47	36,781	35,800	26,800
	10-12	28.84	112.66	36,615	35,600	26,950
	1-3	30.97	107.24	37,087	36,100	26,750
04 年度	4-6	33.10	108.54	38,912	37,700	27,850
	7-9	37.12	110.10	42,246	40,750	31,000
	10-12	41.00	108.90	44,807	43,000	33,000
	1-3	39.76	103.71	42,568	40,900	30,800
05 年度	4-6	47.46	106.00	48,709	46,800	37,250
	7-9	52.76	110.01	53,963	51,800	41,600
	10-12	58.95	113.41	59,970	57,500	46,850
	1-3	57.41	117.51	56,443	57,800	47,800
06 年度	4-6	62.95	116.18	60,035	61,200	51,650
	7-9	69.20	114.64	64,152	64,900	54,050
	10-12	65.46	117.63	62,639	63,500	51,150
	1-3	58.04	118.90	57,347	58,400	48,900
07 年度	4-6	61.16	118.74	59,761	60,500	53,550
	7-9	69.70	121.21	67,631	67,850	58,450
	10-12	76.10	114.94	69,595	69,650	64,250
	1-3	91.52	109.25	77,836	77,550	67,500

(06年度より総原価の算出を改訂)

07年度1-3月期の船舶用燃料油ガイドラインは、決着した模様。